



徒歩 JR早川駅から石垣山農道を経て徒歩約50分
箱根登山鉄道入生田駅から徒歩約60分

自動車 国道1号線横浜方面から
板橋交差点を左折し
ターンパイク入口交差点を左折
国道135号線熱海方面から
早川交差点を左折
(小田原方面からは右折不可)

国道1号線箱根方面から
地球博物館前交差点を右折 (大型車はこちらから)

タクシー 小田原駅から 約15分 約1,500~2,000円
早川駅・箱根板橋駅から 約10分 約1,000円
早川駅・箱根板橋駅にはタクシーは常駐していないので、電話でお呼びください。

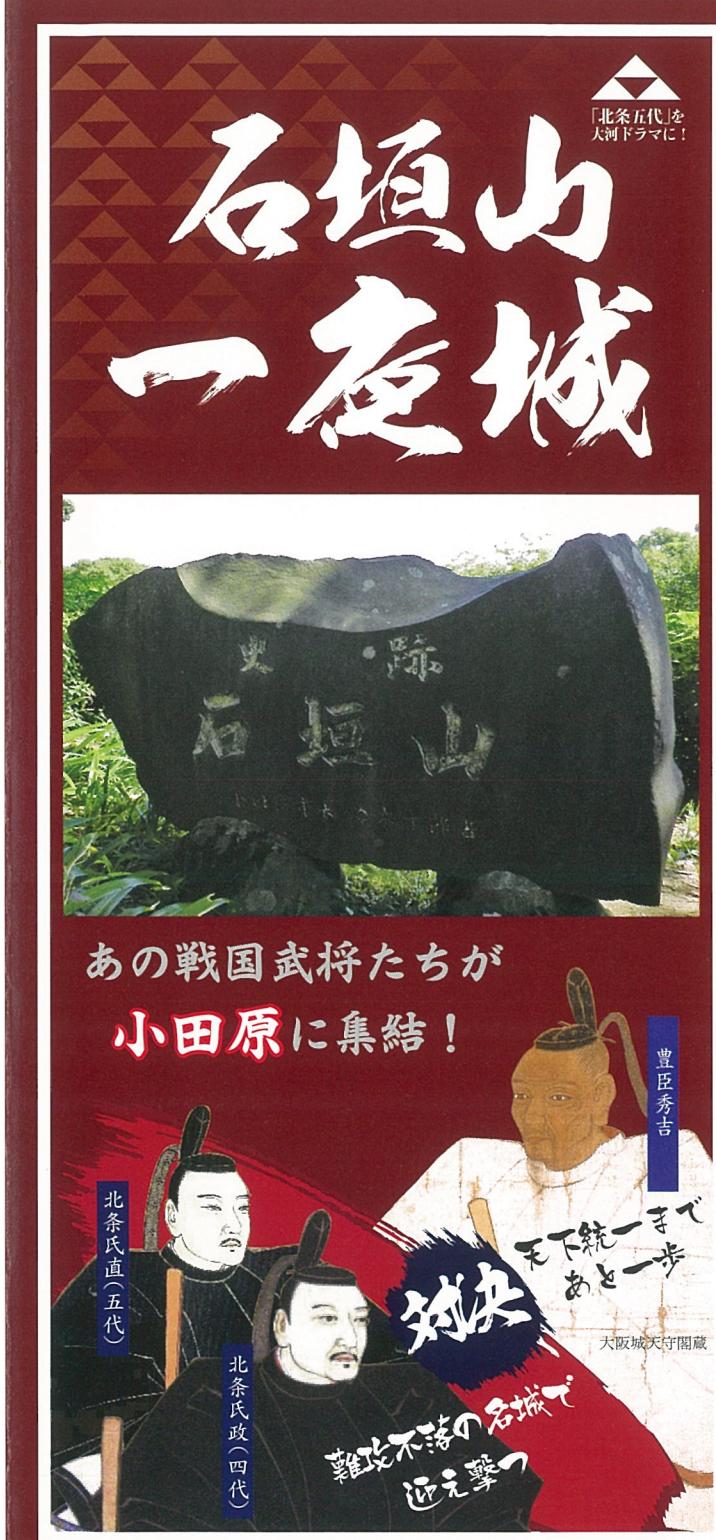
MAPCODE® 57 255 716 * 55
対応機種 (カーナビ・PC・携帯電話) お持ちの方はご利用ください。

QRコード 公園内には段差があり、車いすではご利用いただけません。

お問い合わせ

小田原市観光課 TEL 0465-33-1521
HP : <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>

2014.10.30000



小田原合戦 (新北條五代記より 著・小和田哲男)

豊臣秀吉は、天正13年（1585）に関白に任官し、その年、四国攻め、翌々15年には九州攻めを行って、西国をほぼ平定した。残りは関東・東北である。

そこで同年暮れ、秀吉は、「関東・奥両国惣無事令」を出し、関東と奥両国（陸奥国・出羽国）において、「以後、大名同士の領土の取り合いなどがあれば、関白として征伐する」と命令した。

そして、翌年（1588）4月、秀吉は後陽成天皇を自分の城である聚楽第に招き、全国の諸大名にも列席を命じた。このとき、上洛したかどうかが、秀吉への臣従の踏み絵となつたが、北條氏政・氏直父子は列席しなかつた。ここで、秀吉のターゲットが後北條氏に絞られたのである。

そういううちに、天正17年（1589）10月、秀吉に小田原攻めの口実を与える事件が勃発した。上野国（群馬県）の沼田城代をつとめていた猪俣邦憲が、近くの名胡桃城を奪ってしまった



のである。秀吉は、これを「関東・奥両国惣無事令」違反としてとらえ、ついに11月24日付で宣戦布告状をしたためている。

後北條氏側では、早くからこの日が来ることを想定し、小田原城やその他支城の修築などを行っていた。小田原城の、城と城下町を全部包みこんだ総構(惣構)ができたのもこのころである。

氏政・氏直はおよそ5万4千の兵を動員した。しかし、秀吉の動員兵力はそれをはるかに上まわり、21万ないし22万といわれる大軍だった。

秀吉は、小田原全体を見下ろせる笠懸山に對の城として一つの城を築かせ、そこを本陣とした。これがいわゆる石垣山一夜城である。

小田原城包囲の戦いは天正18年(1590)4月3日から始まり、結局、7月5日、氏直は開城して降伏し、戦国大名後北條氏は滅亡した。

石垣山一夜城、その名の由来

豊臣秀吉が築城に当たり、山頂の林の中に堀や櫓の骨組みを造り、白紙を貼って白壁のように見せかけ、完成すると周囲の樹木を伐採し、それを見た小田原城の将兵が一夜のうちに城が出現したと思ったという伝承から石垣山一夜城と呼ばれます。

秀吉はこの城に淀殿ら側室や千利休、能役者を呼び茶会を開いたり、天皇の勅使を迎えたたりしました。

この城は、関東で最初に造られた総石垣の城で、野面積で造られた、長期戦に備えた本格的な城造りであったと言えます。



本丸（本城曲輪）・天守台

本丸は標高255～257m。面積およそ7,500m²で、最も広い面積を有する曲輪です。天守台は、標高261.1mで、当城中最も高い位置にあります。



二の丸 (馬屋曲輪)

本丸と並んで最も広い曲輪です。曲輪の中心部と北へ長方形に張り出した部分からなってます。

パワースポット！ 井戸曲輪（淀殿の化粧井戸）

淀殿も使つたといわれる化粧井戸



谷地形になるところを塞ぎ止めるように周囲に石垣を積み上げて、その底に井戸をつくったものです。周囲に残る石垣は一夜城の中で最も良く残っていて、当時の石垣構築技術を知ることができる絶好の場所です。昼なお、暗い谷底の井戸に降りていくとただならぬ雰囲気を感じます。

絶景!! 本丸物見台

小田原城下はもちろん、天気が
良い日は、東京スカイツリーも
見えます！
あなたも秀吉になったつもりで
眺めてみては。

